

## 2012年度東海地区協議会研究会運営委員会 第4回議事録

日 時 : 2012年9月27日(木)15時10分～17時30分  
場 所 : 愛知大学名古屋図書館1階ディスカッションルーム  
出席者 : 伏見(名古屋経済)、中田(名古屋学院)、坪井・小島(名古屋芸術)、  
加藤(愛知工業)、池戸(岐阜聖徳学園)、瀧(中京)、峯野(東海学園)、  
保富(豊田工業)、中島(豊橋創造)、八鳥(名古屋外国語)、石田(南山)、  
蓑島(中部)、稲垣(中部 文責) 敬称略(以下同じ)  
代理出席 : 久野(愛知)  
欠席者 : 島田(愛知)、藤岡(愛知学院)

協議に先立ち、蓑島委員長より9月6・7日に行われた研修会が、研修会担当の委員を中心に各委員の方々が役割をしっかりと果たしていただき無事終了したことに関するお礼があった。また、本日の第4回の運営委員会で今年度最後となる予定であるが、最後にこのことについて確認したい、と話があった。

本日、愛知大学の島田委員が欠席であるが、次回の研究会が愛知大学名古屋キャンパスで行われるため、愛知大学名古屋図書館の久野氏が代理出席した。

### 協議事項

#### 1. 実務担当者研修会について

会計担当の稲垣より、資料に基づき実務担当者研修会の会計報告があった。

補足として、加藤委員より(収入-支出の)残額についての主な要因は、参加者が予定より多く、研修会施設関係費用が低くおされられたことなどによる金額であると説明があった。

加藤委員よりアンケート結果、申し送り事項等について報告があった。アンケートはおおむね良好な回答が多く、回答率も非常に高かった。講師の先生にも送付する。

今後の実務担当者研修会において

- ① 委員長が担当を持つことは避けて、ほかの委員に任せるほうがよい。
- ② 研修会担当はもう少し人数を増やしたほうがよい。

以上2点を次回以降への申し送りとしたい。

館灯掲載原稿については、前回の研修会の形式を参考にしていく予定。

#### 2. 2012年度第2回研究会(10/18)について

主幹事伏見委員より資料に基づき説明があり検討を行った。

タイムスケジュール、準備用品、役割分担、配布資料、連絡事項、アンケート等について確認を行った。

現時点で加盟館16館27名参加、非加盟館1館1名の参加。あと20館が未提出である。

研究会アンケートについては、質問4において、選択項目を追加する。後日提出のためのメール送付も行うこととし、そのエクセルシートは保富委員が作成することとなった。

蓑島委員長より研究会の講師・業者との打ち合わせ報告があった。

館灯の原稿担当について、研修会の部分を含めて確認を行った。

### 3. アンケートについて

保富委員より研究会用の現段階のパワーポイント・資料に基づき説明・確認があった。

資料の形式について、研究会ではパワーポイント資料と全体資料の2つを配布し、パワーポイントの説明を行い、全体資料は後程見てもらう形式とすることにした。

今後のアンケート担当の業務について、次の2点について確認した。

① 2013・2014年度は、今年度のようなアンケートは行わず研究会・研修会・見学会のアンケートを担当する。

② 2015年度以降、見学会の年に今年度のような形式のアンケートを実施する。

今後に向けての申し送り事項資料を作成しておく。

### 4. ウェブサイトについて

石田委員より報告があった。

第1回研究会をアップした。

8月27日 新しいウェブ画面のテスト

9月 3日 確認のOK 本稼働

9月18日 第2回研究会案内をアップ

9月20日 総会議事録等をアップ

なお、東海地区の画面に表示されると私大図書館協会の画面にも連動して表示されるようになった。

<協議事項>

東海地区のトップ画面から、直接「館灯」のページにアクセスできるようにしたい。

実務担当者研修会のページについてどのようにするか検討したが、研修会担当で検討することとなった。

ファイルの整理は、今年度で終わらせることはできなかったもので、来年度も継続していく予定。

### 5. その他

今回の運営委員会で予定では最後であるが、次年度の引き継ぎのためなどで必要があれば開催することとなった。

会計担当の稲垣より、次回研究会の時に可能な限り支払処理を行いたいので、立替等ある委員は10/16までに稲垣まで連絡をしてほしいと依頼があった。

研修会の写真を参加者限定で、一定期間公開するURLを作成することとした。  
運営委員を担当しての意見を各委員から聞き、次年度運営委員会へ申し送ることとした。

以上